

1 本年度の重点教育目標

自分の考えをもち、豊かに表現し、高め合う子

2 本年度の取組の重点

- (1) 全ての子供の学びを保障するカリキュラム・マネジメント
- (2) 規範意識を育み、子供に寄り添う生徒指導
- (3) 命を大切に、健康な心身を育む健康・安全指導
- (4) 豊かな心を育む道徳指導と望ましい人間関係を醸成する特別活動の充実
- (5) 多様なニーズに対応する特別支援教育
- (6) 子供と向き合う時間を確保する業務改善と働き方改革
- (7) 地域とともにある学校

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
① 全ての子供の学びを保障するカリキュラム・マネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えをもち、伝え合い、さらに考えを深める授業の工夫 ○一人一人の子供の学びを深める支援の工夫 ・ICTの活用・読書活動の充実・家庭学習の習慣の定着 ・教科担任制、交換授業の推進 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標の達成と子供像の具現化を目指し授業力・指導力の向上に努め、教育活動の充実を図ってきた。今後も共通理解の下、子供学びを深めるための手立てを具体化し、子供たちの興味・関心を高める授業作りをし、達成感を感じられるような工夫に努める。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観において、授業に真剣に取り組む姿、子供たち同士の自然な学び合い、クロームブックなどのICT機器を用いた授業で子供たちが生き生き活動していた。よさを認め合う雰囲気を感じた。 ・1人1台端末を活用した授業（指導）、先生方の指導力と児童の熱心な取り組みは素晴らしい。一層充実していきましょう。
② 規範意識を育み、子供に寄り添う生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ○失敗しても間違ってもよい、安心して生活できる学級 ○全教職員による温かな見守りと、ぶれない指導 ・情報の共有、報連相の徹底 ・いじめ・不登校への迅速な対応 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有と報連相が意識され、早期の問題解決につながった。今後も学年団はもとより、専科や担任外の教職員との連携を円滑に図り、今後も組織的な対応の一層の推進に努めていく。 ・年2回の「アセス」の実施により、客観的なデータを活用して、子供に寄り添う生徒指導を行った。来年度は「ほっと」を活用し、いじめ・不登校への迅速な対応にも生かしていく。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの高校として、お役に立つことがあれば・・・。（例えば、食育、調理実習など連携したいものです。）登下校中にもすれ違う人との挨拶の輪が広がればいい。校長先生、教頭先生の意が先生方から児童へと伝わり、落ち着いた、そして活気ある「亀小」と感じました。今後、一層の発展に期待しております。本校へのご支援もよろしくお願いいたします。 ・亀田小学校の子供たちは挨拶がとても良い。
③ 命を大切に、健康な心身を育む健康・安全指導	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の生命を守る意識の醸成 ○望ましい生活習慣の定着 ○楽しく運動、心身の健康の保持 ・基本的な生活習慣の定着 ・安全や病気の予防に向けた取組の推進（感染症対策の継続） ・継続的な体力作りの推進 	a	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を継続し、自分と互いの生命を守る行動の徹底に取り組んだ。また、体育専科教員を中心に、授業や体力作りを組織的に継続した。来年度も、学校と家庭や地域が一体となって、命を大切に健康な心身を育むための指導を継続、徹底する。 ・安全な登下校のために、教職員の巡視、地域の方々の協力による見守りを実施した。自主的な挨拶を子供たちに働きかけ、気持ちよいあいさつをする感覚・経験を身につけさせることに努めた。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・当校の教育活動は立派で意見及び要望はありません。参観日は、風が冷たく寒い日ではありましたが、教室内は温かく、明るく、新型コロナウイルスの変異株（オミクロン株）の感染防止には対応されていました。 ・クロームブックを活用した授業を初めて参観しました。教科書と共に触れて新しい考え方を打ち出し、考える喜びを育てている点が見受けられ、時代の流れを感じ、私自身勉強になりました。また、体育館を温めて、マット運動、回転などをタブレットPCを使って、良い点、悪い点、弱点等、教え合っていて、素晴らしい授業でした。
④ 豊かな心を育む道徳指導と望ましい人間関係を醸成する特別活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○思いやり・正しい判断・協調性の育成 ○自主・自律、「ともにの精神」で協力する活動 ・教育活動全体での道徳授業の充実 ・特別な教科道徳の授業の充実 ・児童の発想や自主的な取組の活用 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳を要として教育活動全体で、友達の良いところを認め合い、仲良く生活をする指導を重ねてきた。今後も教職員が子供たちと向き合う時間をできるだけ確保し、よりよい人とかかわり方を身に付けられるように、子供の気持ちに寄り添った指導に取り組む。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な子供たちを多く見かけ、声がけもきちんと大きな返事が返ってきます。応援しておりますので、よろしく願います。 ・コロナ禍のため、行事にも参加できず、子供たちの成長を見届けることはできませんでしたが、春の交通安全や児童公園での様子、ラジオ体操などでは、元気な挨拶や落ち着いた様子を見ることができました。

⑤ 多様なニーズに対応する特別支援教育	<ul style="list-style-type: none"> ○専門性の向上と担任・保護者への相談体制の充実 ○子供のニーズに応じた支援体制の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども支援委員会の充実 ・関係機関との連携 	a	<ul style="list-style-type: none"> ・障害に関する知識や配慮等についての正しい理解と認識を深め、ともに級を含めた特別な支援を必要とする子供たちへの支援に、子ども支援委員会を中心に組織的に取り組んだ。今後も、これまで積み重ねてきた特別支援教育に関する実践及び理解と、指導、支援を大切に、子供たちのための最善な指導や支援を目指す。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・町会の役員は、70～80代で子育てが終わっている年寄りが多いのですが、小さな子供たちの成長に役立つことがあるのであれば、してみたいと思っています。
⑥ 子供と向き合う時間を確保する業務改善と働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> ○学校評価を活用した業務改善 ○ワークライフバランスを意識した働き方改革 <ul style="list-style-type: none"> ・計画的な学校評価の実施と業務見直し ・勤務時間の割振変更等の活用 ・定時退勤日、学校閉庁日の設定 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価を活用した業務改善により、各分掌の連携がなされるとともに効果的に教育活動を推進することができた。来年度も業務の平準化や勤務時間を意識し、効率的な業務推進を目指す。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校における働き方改革により、先生方に心の余裕が少しでることを願っています。そのことが、子供たちの指導に生きてくると思います。 ・学校に留守番電話が導入されたが、学校からのメール配信もあり、とても助かっています。
⑦ 地域とともにある学校	<ul style="list-style-type: none"> ○積極的な情報発信と信頼関係の構築 ○CSを活用した教育活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭・地域・外部機関との連携、協力・CSの推進 ・小中一貫教育の充実 ・外部機関との連携による教育活動の充実 	b	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症防止策を最優先とし、外部との連携を制限せざるを得ない状況の中、保護者や学校運営協議会の委員が来校する学校行事を実施したほか、外部講師や地域人材の活用を図ることができた。今後も、子供の学びを止めない工夫を進めていく。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・児童館の活動を進める上で、学校だよりは有効な資料です。しっかり読み、情報をキャッチさせていただいております。学校での子供たちの姿は、行事などに参加できないこともあり、十分捉えてはおりませんが、来館した子供たちは、しっかり遊びを楽しんでいました。 ・いつも学校だよりや巡視での児童館訪問、ありがとうございます。亀小の子は、みな素直でよい子ばかりです。これからも函館の教育を引っ張ってください。

その他ご意見

<ul style="list-style-type: none"> ・日頃より少年団活動にご理解いただきありがとうございます。子供たちの健全な成長、教育の助けとなるよう指導して参ります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。 ・10月より外遊びの時刻が早くなり、雨が多かったこともあり、児童館への来校者は少なくなってきたようです。歴史と伝統のある亀田小、コロナ禍でも優れた実践をされていることでしょう。日々、本当にお疲れ様です。
--

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。